

下呂ふるさと歴史記念館

下呂ふるさと歴史記念館には縄文時代（紀元前 14,500 年-900 年）の出土品から 20 世紀の主要な出来事に関する物語形式の展示まで地域の歴史の包括的なコレクションが展示されています。この記念館は 1960 年代後半の発掘で多くの古代遺物が発見された峰一合遺跡に隣接しています。この場所は現在縄文公園として知られており、古代の生活様式や建築物を説明する復元された竪穴住居がいくつかあります。

下呂ふるさと歴史記念館には石の矢じりや突き錐などの出土品が展示されています。これらは約 10 万年前の湯ヶ峰噴火の結果形成された「下呂石」とも呼ばれる灰色や黒色の火成岩、湯ヶ峰流紋岩でできています。室町時代（1336 年-1573 年）に築城されたと考えられる桜洞城跡からは青銅の装飾品や青磁の壺など日本の中世の歴史を伝える遺物も展示されています。最近の歴史文書や展示品は温泉地としての下呂温泉の発展とこの地域の林業の成長を示しています。

下呂ふるさと歴史記念館の入館は無料です。縄文土器やアクセサリー作りが体験できるワークショップ体験は有料です。